

発達障がい者のための 就労サポートカードについて

～働くうえでの強みや配慮事項を
整理するために～

就労支援機関用 活用ガイド

大阪府障がい福祉室自立支援課

発達障がい者のための 就労サポートカードとは

発達障がい者のための
就労サポートカード

～働くうえでの強みや配慮事項を
整理するために～

就労支援機関用 活用ガイド

平成31年2月
大阪府障がい福祉室自立支援課

2種類のシートを用いて、障がいのある方本人と支援者が、今までの訓練や実習、職場で働いた経験を、面談などを通じて振り返りながら、働くうえでの強みや事業主に伝えるべき配慮事項を整理するもの

得意・苦手を整理するシート

セルフケアと配慮事項を整理するシート

就労サポートカードの特徴

本人と支援者双方の考えや評価を対比して書けるようになっている。

⇒障がい特性上、自己認識と客観的評価がずれてしまうことが見られる発達障がいの方が、カードを作成する過程を通して、働くうえで必要な自己理解を深められる

得意・苦手を整理するシート

作成日:

名前:

長く続けられた仕事、好きだった仕事、
ほめられたことのある作業は？

①好きだった仕事・得意な作業・うまくいっていること

①

なぜその作業が得意？得意な
作業に共通することはある？

【自己評価】①に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例A参照

- ☐
- ☐
- ☐

①-1

すぐ辞めてしまった仕事、しんどいと感じる仕事、
やっているとよく注意された作業は？

②しんどいと感じる仕事・苦手な作業・うまくいっていないこと

②

なぜその作業がしんどい？苦手な
作業に共通することはある？

【自己評価】②に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例A参照

- ☐
- ☐
- ☐

②-2

自分自身が
感じていること
(自己評価)

【他者評価】働く上で強みとなる作業の特徴や
環境 ※記載項目例Aを参照

- ☐
- ☐

③-1

【他者評価】配慮や工夫があればできる作業の
特徴や環境 ※記載項目例A参照

- ☐
- ☐

③-2

支援者や会社
の人が、感じて
いること
(他者評価)

上記項目はあなたが働くうえでの強みです。
強みが活かせる作業や職場環境であれば、より
働きやすいと感じたり、より自身の力が発揮
できるかもしれません。

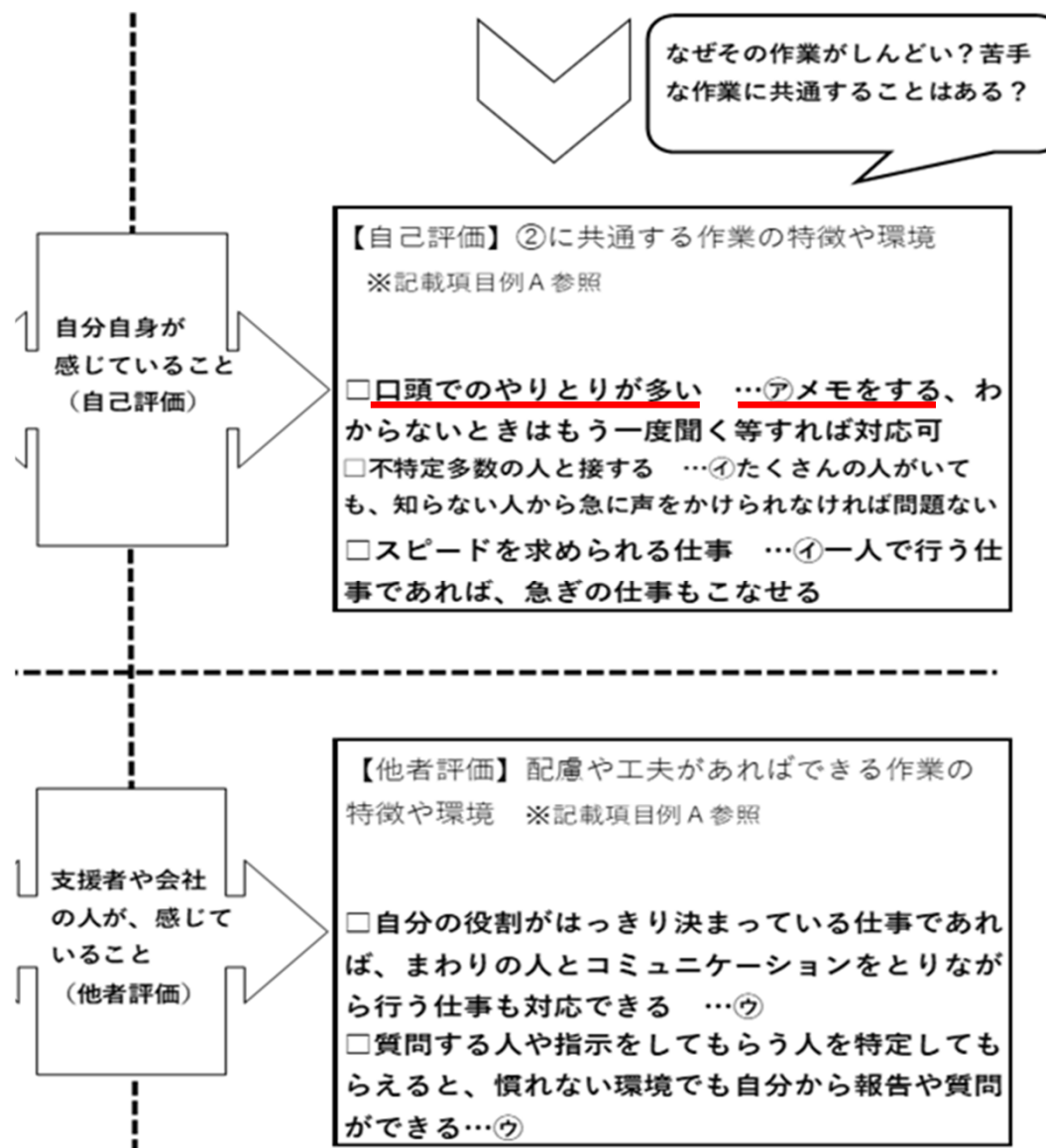
上記の強みをより多く・より長く発揮できるよう
にするために、自分自身でがんばれることや、
会社においてほしいことがあれば、別紙2「セルフ
ケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、
その効果を検証してみてください。

上記項目が⑦自分の頑張りや工夫でできる
こと ⑧場面によってできること ⑨まわりの
配慮(サポート)があればできること、それぞ
れどれにあてはまるのか考えましょう。

⑨にあてはまるものがある場合は、別紙2「セル
フケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、
職場や実習先での実践を通して、その効果
を検証してみてください。

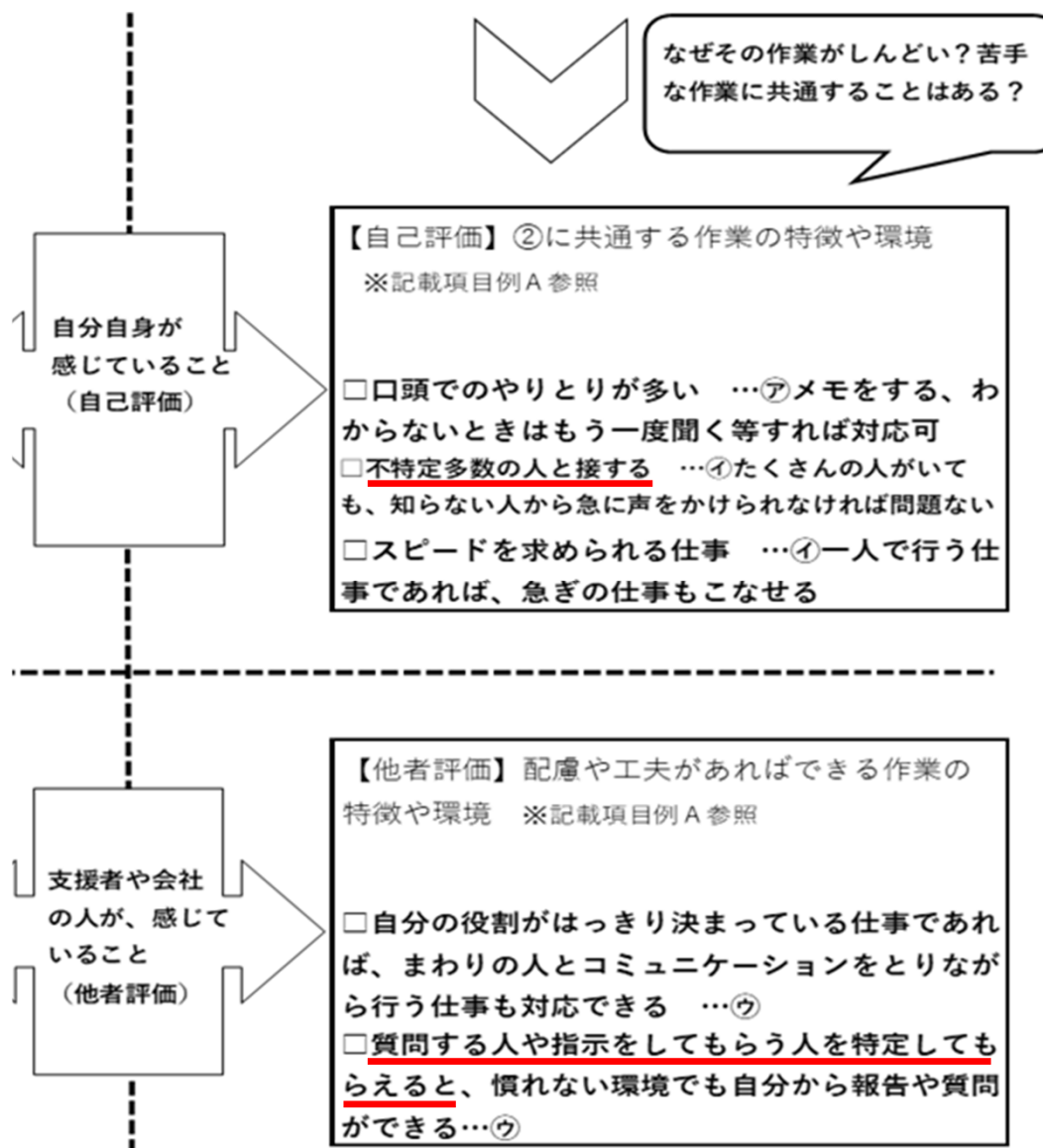
記載例 1

(自己評価及び 他者評価の右側)



記載例 1

(自己評価及び 他者評価の右側)



(記入内容) 記載項目例

A 仕事や作業の特徴や環境		B 自分でできること（セルフケア）		C 会社をお願いすること	
①	体を動かすことが多い⇔体を動かすことが少ない	①	指示されたことを復唱する、できたものを確認してもらう	①	仕事の量や内容を調整してもらう（増やす、減らす、特定の作業をはぶく、追加する等）
②	体全体を使う作業⇔手先を使う作業	②	メモしたことやマニュアルを見直す	②	わかりやすい指示を出してもらう（具体的に、短く、ゆっくり、見本やマニュアルを使って等）
③	工程が単純な作業⇔工程が複雑な作業	③	メモをとる、マニュアルを作成する	③	仕事の優先順位をつけてもらう
④	複数作業の同時並行⇔一つの作業の繰り返し	④	わからないことを質問する	④	はじめての仕事をするときに指示の出し方を配慮してもらう（手順を一つずつ教えてもらう、手本を見せてもらう等）
⑤	スピードが求められる⇔比較的求められない	⑤	業務記録をつける（作業した時間や量等）	⑤	予定や業務内容の変更について配慮してもらう（できるだけ急な変更は避けてもらう、事前にわかれば伝えてもらう、変更の理由を伝えてもらう）
⑥	個人での作業が多い⇔周囲と協力して行う作業が多い	⑥	道具（マスクやサングラス、ヘッドフォン、タイマー等）を活用する	⑥	メモをとる時間をもらう（とり終えるまで指示を待ってもらう等）
⑦	自分で判断しなければならないことが多い⇔決められた通り行うことが多い	⑦	気持ちの切り替えやリラックスができる行動をとる（深呼吸する、飲み物を飲む、トイレに行く、外の空気を吸う等）	⑦	質問や相談できる人を固定してもらう
⑧	変更が多い⇔少ない（予定や作業内容、一緒に作業する人等）	⑧	仕事の進め方を工夫する（得意なことやしんどいときでもできる仕事からとりかかる、時間がかかってもしんどい仕事をやる等）	⑧	席の配慮をしてもらう（すみっこの席、相談できる人の横など）
⑨	口頭での指示が多い⇔マニュアルを見ながらの作業が多い	⑨	書いて頭を整理する（うまくいっていること、こまっていること等を書きだす）	⑨	仕事の評価をしてもらう（できているところ、できていないことをはっきり伝えてもらう等）
⑩	相談や質問できる人がいる⇔いない	⑩	話して頭を整理する（困っていることを会社の人や支援者に相談する）	⑩	しんどい時にできる仕事を用意してもらう

※①～⑦：作業の特徴 ⑧～⑩：まわりの環境

※①～⑥：作業面 ⑦～⑩：感情面

得意・苦手を整理するシート

作成日:

名前:

長く続けられた仕事、好きだった仕事、
ほめられたことのある作業は？

①好きだった仕事・得意な作業・うまくいっていること

①

なぜその作業が得意？得意な
作業に共通することはある？

【自己評価】①に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例A参照

- ☐
- ☐
- ☐

①-1

【他者評価】働く上で強みとなる作業の特徴や
環境 ※記載項目例Aを参照

- ☐
- ☐

①-2

上記項目はあなたが働くうえでの強みです。
強みが活かせる作業や職場環境であれば、より
働きやすいと感じたり、より自身の力が発揮
できるかもしれません。

上記の強みをより多く・より長く発揮できるよう
にするために、自分自身でがんばれることや、
会社においてほしいことがあれば、別紙2「セルフ
ケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、
その効果を検証してみてください。

すぐ辞めてしまった仕事、しんどいと感じる仕事、
やっているとよく注意された作業は？

②しんどいと感じる仕事・苦手な作業・うまくいっていないこと

②

なぜその作業がしんどい？苦手な
作業に共通することはある？

【自己評価】②に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例A参照

- ☐
- ☐
- ☐

②-1

【他者評価】配慮や工夫があればできる作業の
特徴や環境 ※記載項目例A参照

- ☐
- ☐

②-2

上記項目が②自分の頑張りの工夫でできる
こと ③場面によってできること ④まわりの
配慮（サポート）があればできること、それぞ
れどれにあてはまるのか考えましょう。

⑤にあてはまるものがある場合は、別紙2「セル
フケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、
職場や実習先での実践を通して、その効果
を検証してみてください。

(記入内容) 記載項目例

A 仕事や作業の特徴や環境	B 自分でできること (セルフケア)	C 会社をお願いすること
① 体を動かすことが多い⇔体を動かすことが少ない	① 指示されたことを復唱する、できたものを確認してもらう	① 仕事の量や内容を調整してもらう (増やす、減らす、特定の作業をはぶく、追加する等)
② 体全体を使う作業⇔手先を使う作業	② メモしたことやマニュアルを見直す	② わかりやすい指示を出してもらう (具体的に、短く、ゆっくり、見本やマニュアルを使って等)
③ 工程が単純な作業⇔工程が複雑な作業	③ メモをとる、マニュアルを作成する	③ 仕事の優先順位をつけてもらう
④ 複数作業の同時並行⇔一つの作業の繰り返し	④ わからないことを質問する	④ はじめての仕事をするとときに指示の出し方を配慮してもらう (手順を一つずつ教えてもらう、手本を見せてもらう等)
⑤ スピードが求められる⇔比較的求められない	⑤ 業務記録をつける (作業した時間や量等)	⑤ 予定や業務内容の変更について配慮してもらう (できるだけ急な変更は避けてもらう、事前にわかれば伝えてもらう、変更の理由を伝えてもらう)
⑥ 個人での作業が多い⇔周囲と協力して行う作業が多い	⑥ 道具 (マスクやサングラス、ヘッドホン、タイマー等) を活用する	⑥ メモをとる時間をもらう (とり終えるまで指示を待ってもらう等)
⑦ 自分で判断しなければならないことが多い⇔決められた通り行うことが多い	⑦ 気持ちの切り替えやリラックスができる行動をとる (深呼吸する、飲み物を飲む、トイレに行く、外の空気を吸う等)	⑦ 質問や相談できる人を固定してもらう
⑧ 変更が多い⇔少ない (予定や作業内容、一緒に作業する人等)	⑧ 仕事の進め方を工夫する (得意なことやしんどいときでもできる仕事からとりかかる、時間がかかっても一つの仕事をやるきる等)	⑧ 席の配慮をしてもらう (すみっこの席、相談できる人の横など)
⑨ 口頭での指示が多い⇔マニュアルを見ながらの作業が多い	⑨ 書いて頭を整理する (うまくいっていること、こまっていること等を書きだす)	⑨ 仕事の評価をしてもらう (できているところ、できていないことをはっきり伝えてもらう等)
⑩ 相談や質問できる人がいる⇔いない	⑩ 話して頭を整理する (困っていることを会社の人や支援者に相談する)	⑩ しんどい時にできる仕事を用意してもらう

※①～⑦：作業の特徴 ⑧～⑩：まわりの環境 ※①～⑥：作業面 ⑦～⑩：感情面

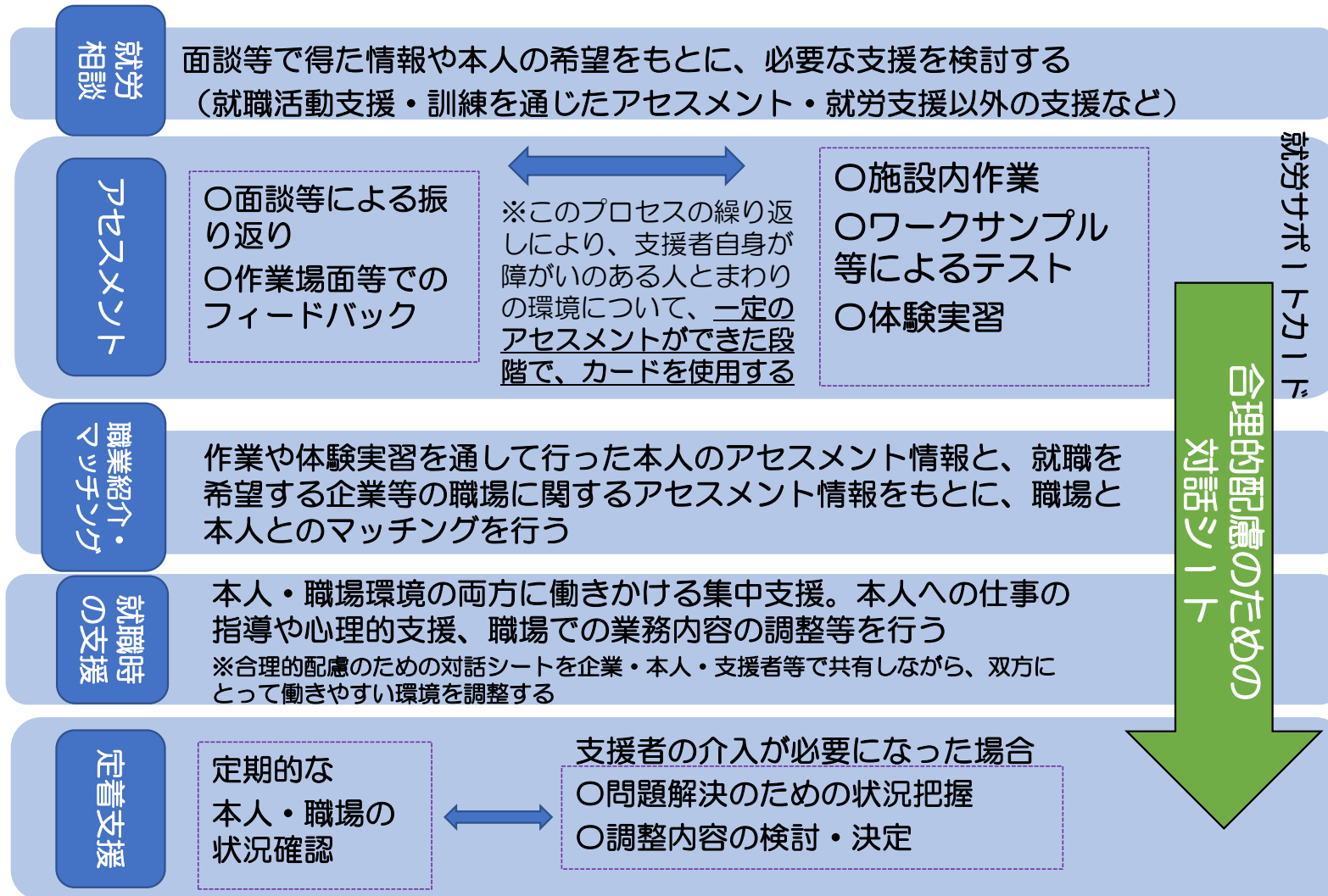
自分になるために、セルフケアと配慮事項を整理するシート

名前:

※「会社へ伝えたい」にチェックした場合は、「合理的配慮のための対話シート」を使って伝えてみてください

就労支援のプロセスに合わせた

「発達障がい者のための就労サポートカード」と「合理的配慮のための対話シート」使用の流れ

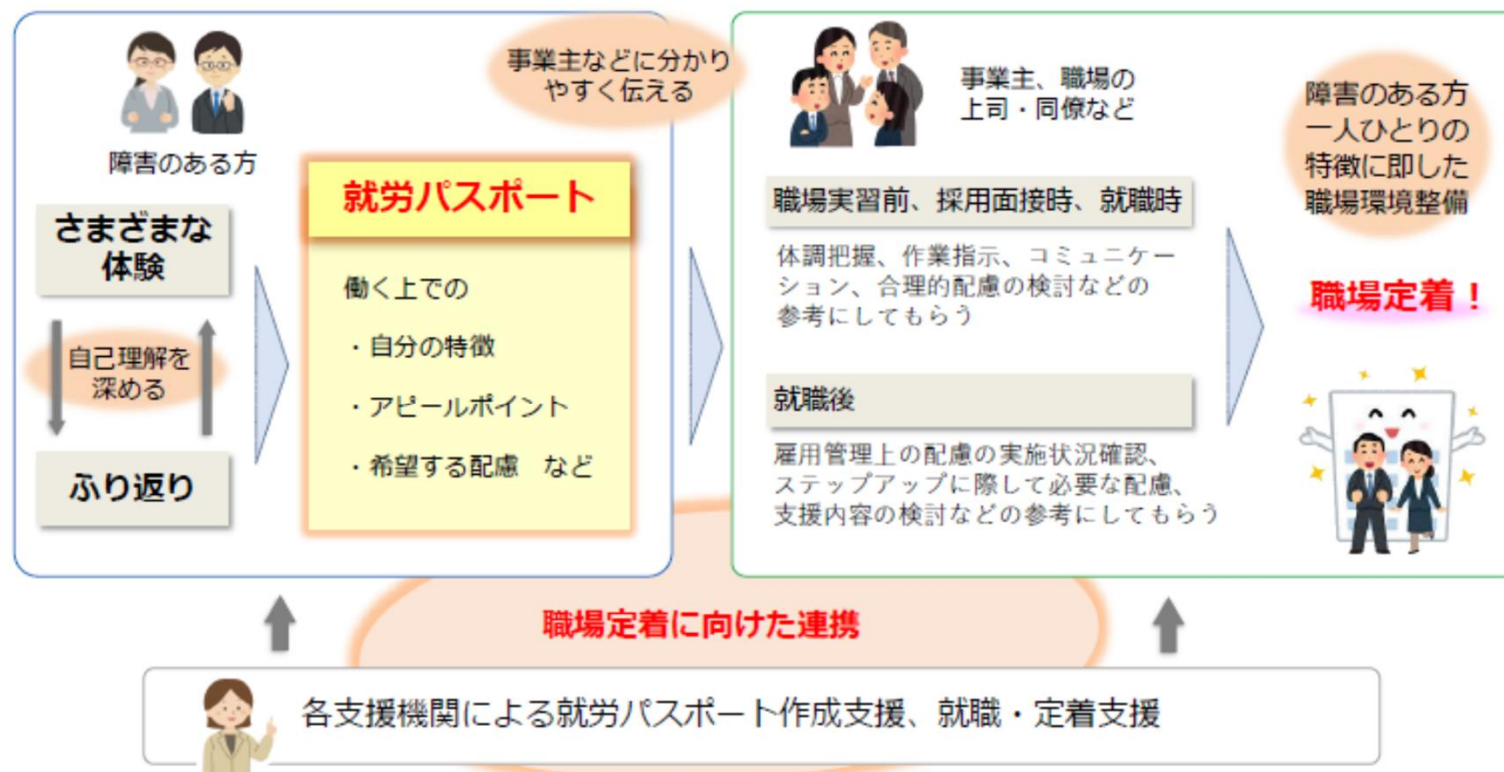


合理的配慮のための対話シート				氏名	支援機関	(担当:)
職場で能力を発揮するために障がいのある方が事業主に配慮してもらいたいことを記入します。 事業主は過重な負担とならない範囲で対応できるか検討し、難しい場合には、代替案を提案し話し合ってください。 本人は配慮希望だけでなくセルフケアも記入します。ひとりひとりに応じた配慮が必要な場面で活用ください。						
	事業主への配慮希望	配慮の目的と効果	セルフケア	調整内容		
(例)	昼休憩以外に5分間の休憩を2回設けていただけると有難いです	集中力を回復させ生産性を向上させるため	休憩時間で回復するようストレッチなど気分転換法を活用します	休憩の配慮をしますので仲間への感謝の気持ちを忘れないでください		
1						
2						
得意・不得意・特性等						
(例)真面目な性格で丁寧に仕事に取り組みます。疲れが緊張状態では気づきにくい特性がありますので訓練時は疲れ具合のチェック表をつけていました。						
内容共有						
所属						
氏名						
				年 月 日(次回更新予定 年 月)		

就労パスポートについて

障害のある方が、働く上での自分の特徴やアピールポイント、希望する配慮などを就労支援機関と一緒に整理し、就職や職場定着に向け、職場や支援機関と必要な支援について話し合う際に活用できる情報共有ツール

※ 就労パスポートの作成・活用・管理、共有の範囲などは、障害のある方ご本人の意向によります。



就労サポートカードの活用事例報告

福祉部障がい福祉室自立支援課

サポートカード活用のきっかけ

- 本人のこれまでの仕事経験について、深掘りして整理したい
- 現在の業務から気づいたことや課題について、本人と振り返りたい
- 実習に参加して気づいたことや課題について、本人と振り返りたい
- 次の実習や就職に繋げていけたら...



ケース概要

- ・20代男性
- ・ハートフルオフィス作業員(就活中)
- ・知的障がい(療育手帳B1)、自閉スペクトラム症
- ・こだわりが強く、自分の思いどおりにならないとイライラする
- ・真面目な性格で挨拶や返事はきちんとできる
- ・好きなことは映画鑑賞、オリジナルの漫画を描くこと

これまでに参加した実習 ①図書ラウンジの本の整理
 ②商品の検品、液体補充、梱包作業



サポートカード作成の手順(例)

- ①サポートカードを作成する理由(意味)について本人と共有する
- ②これまでの就労や実習を振り返りながら
思い出したことを自由に記載してもらう
- ③本人と支援者の認識(評価)に差異があれば、
それをすり合わせながら本当に必要な配慮事項や強みを整理・検証する



得意・苦手を整理するシート

作成日: _____ 名前: _____

長く続けられた仕事、好きだった仕事、
ほめられたことのある作業は？

①好きだった仕事・得意な作業・うまくいっていること

なぜその作業が得意？得意な
作業に共通することはある？

【自己評価】①に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例A参照

- ☐
- ☐
- ☐

自分自身が
感じていること
(自己評価)

すぐ辞めてしまった仕事、しんどいと感じる仕事、
やっているとよく注意された作業は？

②しんどいと感じる仕事・苦手な作業・うまくいっていないこと

なぜその作業がしんどい？苦手な
作業に共通することはある？

【自己評価】②に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例A参照

- ☐
- ☐
- ☐

支援者や会社
の人が、感じて
いること
(他者評価)

【他者評価】働く上で強みとなる作業の特徴や
環境 ※記載項目例Aを参照

- ☐
- ☐

【他者評価】配慮や工夫があればできる作業の
特徴や環境 ※記載項目例A参照

- ☐
- ☐

上記項目はあなたが働くうえでの強みです。
強みが活かせる作業や職場環境であれば、
より働きやすいと感じたり、より自身の力が発揮
できるかもしれません。

上記の強みをより多く・より長く発揮できるよう
にするために、自分自身でがんばれることや、
会社においてほしいことがあれば、別紙2「セルフ
ケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、
その効果を検証してみてください。

上記項目が②自分の頑張りや工夫でできる
こと ①場面によってできること ②まわりの
配慮(サポート)があればできること、それぞ
れどれにあてはまるのか考えみましょう。

②にあてはまるものがある場合は、別紙2「セル
フケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、
職場や実習先での実践を通して、その効果
を検証してみてください。

得意・苦手を整理するシート

①好きだった作業・得意な作業・うまくいっていること

記載項目例を参考に
記入する

作業内容	得意な理由
シュレッダー、資料セット 計数、ラベル貼り	・一人でもくもくと進めることができる。 ・指導員に褒めてもらった経験がある。
本のタイトルのチェック作業 (実習1か所目)	・もともと本が好きなので楽しかった。 ・マイペースに進めることができた。
液体の補充作業(実習2か所目)	・立ち仕事だったが、体力に自信があるためしんどくならなかった。 ・作業工程が単純(同じ作業の繰り返し)だった。

得意・苦手を整理するシート

【自己評価】①に共通する作業の特徴や環境

- ・一人で集中できる作業
- ・一つの作業の繰り返し
- ・決められたとおりに行うことが多い
- ・見本があると、そのとおりに作業を進めることができる

▶話し言葉や文字だけだとイメージがつきにくい

映画や絵は自分にとってわかりやすい、自由に想像ができるから楽しい



得意・苦手を整理するシート

【他者評価】働く上で強みとなる作業の特徴や環境

- ・工程の少ない単純な作業が得意
- ・一人でもくもくと進めることができる作業が得意
- ・見本があるとより早く作業を習得することができる



得意・苦手を整理するシート

②しんどいと感じる仕事・苦手な仕事・うまくいっていないこと

作業内容	苦手な理由
倉庫作業(ピッキング)	・先輩に注意されたことがある ・物がたくさんあって、どれを直したらいいか、何を優先すべきかわからなかった
人と協力する作業 (相手のペースに合わせること)	・周りの人が何を考えているかわからない ・相手が不機嫌にならないか心配になり、作業に集中できないことがある
梱包作業	・他の実習生の速さについていけなかった
変更が多い作業	・作業内容と指示する人が変わると混乱した

得意・苦手を整理するシート

【自己評価】②に共通する作業の特徴や環境

- ・共同作業
- ・自分で判断しなければいけないこと
- ・変更が多い作業
- ・スピードを求められる作業
- ・相談できる人がいない(誰に相談したらいいかわからない)



得意・苦手を整理するシート

【他者評価】配慮や工夫があればできる作業の特徴や環境

- ・はじめての作業をするときに指示の出し方を配慮してもらう
（見本を用意してもらう、手順を一つずつ教えてもらう等 ）
- ・仕事の優先順位をつけてもらうと、
混乱することなく安心して作業に取り組むことができる
- ・質問や相談できる人を固定してもらう



〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

自分になるために、セルフケアと配慮事項を整理するシート

作成日(③④⑤):

作成日(⑥⑦)

名前:

③苦手な(うまくいっていない・つまづきが予想される)場面

④自分でできること (セルフケア)

☐

☐

↑記載項目例Bを参照

「得意・苦手を整理するシート」②に共通する作業の特徴や環境の中で、②まわりの配慮やサポートがあればできること

⑤会社をお願いすること (事業主への配慮希望)

☐

☐

↑記載項目例Cを参照

セルフケアと配慮事項を整理するシート

③苦手な場面 → 自分で判断しなければならないことが多い

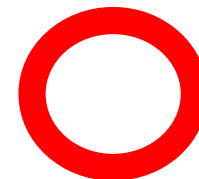
④自分でできること → わからないことは相談する
勝手に作業をすすめない

⑤会社をお願いすること → 優先順位をつけてもらう
相談できる人を固定してもらう



実習の結果

- 手先を使った作業、シュレッダー、郵便物の配送は良くできた
- 見本があることで、スムーズに作業を進めることができた
- 相談できる人(担当者)が決まっていたので、混乱することがなかった



- 集団で行う作業は周りのスピードについていけなかった
- 一つ一つの作業が丁寧な分、完成までに時間を要した



今後の課題等

- ・実習先より、周りを見て動くことが苦手という指摘があった



活用するなかで気づいたこと

- 本人が訓練や実習等を積み重ね、
自身の作業経験のある程度話せるようになった段階で使用する
- 支援者が本人の言うことを遮らず、「なぜ？」「どうして？」とオープン質問をする
- 「苦手なこと」を「サポートがあればできること」にポジティブに変換する
- 支援者が周りの人に意見を聞き、幅広い視点をもつ

まとめ

- ・本人の状況や周りの環境の変化に応じてサポートカードを更新する
- ・サポートカードを作成する中で本人と向き合う
- ・「対話」を大切にする



演習課題について

演習課題の流れ

- ①各自、資料掲載HPにある事例を読み込む
- ②課題1：得意・苦手を整理するシート
事例をもとに、自己評価A・B、他者評価Cを記入
- ③課題2：セルフケアと配慮事項を整理するシート
事例をもとに、苦手な場面D、セルフケアE、配慮Fを記入
- ④課題3：アンケート①②
シート作成時に感じたことについてや、アセスメントツールについて
アンケートに回答
- ⑤会場講義当日、課題1～3を持参

課題1

得意・苦手を整理するシート

作成日: _____ 名前: _____

長く続けられた仕事、好きだった仕事、ほめられたことのある作業は？

①好きだった仕事・得意な作業・うまくいっていること

(A)

なぜその作業が得意？得意な作業に共通することはある？

【自己評価】①に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例Aを参照

☐ ☐ ☐

(B)-1

すぐ辞めてしまった仕事、しんどいと感じる仕事、やっているとよく注意された作業は？

②しんどいと感じる仕事・苦手な作業・うまくいっていないこと

(A)

なぜその作業がしんどい？苦手な作業に共通することはある？

【自己評価】②に共通する作業の特徴や環境
※記載項目例Aを参照

☐ ☐ ☐

(B)-2

自分自身が
感じていること
(自己評価)

【他者評価】働く上で強みとなる作業の特徴や環境
※記載項目例Aを参照

☐ ☐

(C)-1

上記項目はあなたが働くうえでの強みです。強みが活かせる作業や職場環境であれば、より働きやすいと感じたり、より自身の力が発揮できるかもしれません。

上記の強みをより多く・より長く発揮できるようにするために、自分自身でがんばれることや、会社にお問い合わせすることがあれば、別紙2「セルフケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、その効果を検証してみてください。

【他者評価】配慮や工夫があればできる作業の特徴や環境
※記載項目例Aを参照

☐ ☐

(C)-2

上記項目が⑦自分の頑張りや工夫でできること ⑧場面によってできること ⑨まわりの配慮(サポート)があればできること、それぞれどれにあてはまるのか考えましょう。

⑨にあてはまるものがあれば、別紙2「セルフケアと配慮事項を整理するシート」を活用し、職場や実習先での実践を通して、その効果を検証してみてください。

支援者や会社
の人が、感じて
いること
(他者評価)

課題2

〇〇〇〇〇〇〇〇〇

自分になるために、セルフケアと配慮事項を整理するシート

作成日(③④⑤):

作成日(⑥⑦):

名前:

③苦手な(うまくいっていない・つまづきが予想される)場面

④自分でできること
(セルフケア)



①

⑤会社をお願いすること
(事業主への配慮希望)

「得意・苦手を整理するシート」②に共通する
作業の特徴や環境の中で、②まわりの配慮
やサポートがあればできること



②



↑記載項目例Bを参照



③



↑記載項目例Cを参照

実践できた？
実践してどんな変化があった？

⑥自分で行ったセルフケアの効果
(配慮の目的と効果)

4	④
1	
4	⑤
1	

自分自身が
感じていること
(自己評価)

実践できた？
実践してどんな変化があった？

⑦会社(まわり)に協力してもらったことの効果
(配慮の目的と効果)

4	④
1	
4	⑤
1	

支援者や会社
の人が、感じて
いること
(他者評価)

職場や実習先での実践を通して考えた結果

□検討した⑤会社をお願いすること(事業主への配慮希望)を、会社へ伝えたい

□検討した⑤会社をお願いすること(事業主への配慮希望)は、会社には伝えなくてもよい

※「会社へ伝えたい」にチェックした場合は、「合理的配慮のための対話シート」を使って伝えてみてください

課題3：アンケート①②

【アンケート①】

シートを記入する際に感じた、

「疑問や質問、難しさ」「意識した点や工夫した点」などについて、ご記入ください。

【アンケート②】

アセスメントツールの使用についてのアンケートです。

項目に沿って、ご記入ください。

注意事項

本研修の趣旨は、「アセスメントやカード活用の理解を深めつつ、演習を通して実践的な学びを得ていただくもの」です。よって、演習課題1～3について、会場講義の日に必ずご持参をお願いします。

※10月8日（木）会場講義に持参

取り組んでいただいた内容や質問をもとに、グループで意見交換を行っていただきます。

課題への取り組みを踏まえたうえで、他の受講者の視点や考え方等を知ること、より深い学びが得られると考えます。